

本学への震災への協力要請と対応一覧

広報センター

平成 24 年 4 月 18 日現在

日付	要請元	日付	本学の対応
3. 1 4	鹿児島大学	3. 1 4	かごしま丸・医療対策班派遣について県に提案
3. 1 4	文部科学省 被災した学校施設の応急危険 度判定調査職員の派遣要請	3. 1 4	施設部職員 1 名を派遣可能の旨回答し待機したが、派遣要請はなかった
3. 1 4	鹿児島大学	3. 1 4	義援金募集：第 1 次：3 月 14 日～ 31 日
		3. 1 7	ボランティア支援センター：街頭 募金活動（～20 日）
		3. 3 1	義援金募集：第 2 次：4 月 1 日～ 25 日（98 万円）
		4. 1 4	日本赤十字社鹿児島県支部長（鹿 児島県知事）へ第 1 次義援金 （14,555,119 円）を寄附
		5. 1 0	義援金募集：第 3 次：5 月 10 日～ 7 月 29 日（718,782 円）
		5. 2 1	KIRP 募金活動 カントリートーク（タンザニア）
		6. 1 0	さつま揚げパーティ
		7. 2 3	KUFSA 主催チャリティフットサ ル大会
		8. 8	義援金募集：第 4 次：8 月 8 日～ 12 月 22 日（410,551 円）
		11. 1 1	ボランティア支援センター：大学 祭期間中、学内で募金活動（～13 日）（21,009 円）
H24 1. 1 1	義援金募集：第 5 次：H24 年 1 月 11 日～3 月 22 日（1,028,624 円） （鹿児島宇宙焼酎ミッション「宇 宙だより」収益金の一部 717,120 円他）		

日付	要請元	日付	本学の対応
		4. 4	義援金募集：第6次：4月4日～9月21日
3. 1 4	文部科学省 緊急被ばく医療対策班派遣要請	3. 1 4	待機中
3. 1 4	分子科学研究機器センター 外部から利用可能な設備の照会	3. 3 0	電界放出型走査電子顕微鏡など8設備が可能（依頼分析に限る）と回答
3. 1 5	日本歯科医師会 被災者身元確認作業への派遣要請	3. 1 6	歯科医師7名を推薦 待機したが派遣要請は出されなかった
3. 1 6	文部科学省 被災者用職員宿舍等の貸与	3. 1 6	13戸貸与可能である旨回答
		3. 2 4	詳細情報を提供
		H24 1.	貸与可能宿舍を4戸に変更（9戸取り壊しのため） H24.4.16現在 貸与実績はなし
3. 1 6	日本法医学会 法医学分野教員に対する検案	3. 1 6	福島県へ派遣（～25日）
		4. 1 9	岩手県で死体検案のため法医学分野教員1名を派遣（～26日）
3. 1 7	国立大学協会 被災物資支援要請	3. 1 8	可能物資一覧表提出
		3. 1 8	かごしま丸に救援物資輸送として派遣依頼、本学からの派遣決定。
		3. 2 3	かごしま丸、鹿児島島谷山港出航
		3. 3 1	かごしま丸帰港
		4. 4	積み残しの支援物資を九州大学へ発送
3. 1 7	文部科学省 放射能汚染食品の測定可能な	3. 1 8	学内共同利用放射性同位元素実験室が条件付きで可能である旨回答

日付	要請元	日付	本学の対応
	施設の提供依頼		
3.18	文部科学省 緊急時における食品の放射能 測定マニュアルへの対応可否	3.22	本学では6種類の分析法（ウラン 分析法、プルトニウム分析法等） について、許可を得ていないため 実施できないことを回答
3.18	国立大学図書館協会	3.18	附属図書館 被災地域の学生が帰省した場合の 利用を許可。 可能な限り本学所属学生と同等の サービスを提供。
			学術情報基盤センター 被災地域の学生がセンター端末が 利用できるよう措置
	鹿児島大学	3.18	授業料免除等の支援を決定
		9.15	特別措置による授業料免除として 基準も満たす者全員について全学 または半額の授業料免除を決定
3.21	文部科学省 空間放射線量率調査の要請	3.22	協力可能である旨回答 本学独自で3月15日よりキャン パス内測定実施
3.21	文部科学省 岩手医科大学病院への支援要 請	3.22	可能物資一覧表提出
	文部科学省、全国医学部長・病 院長会議、各学会 重傷患者等の受入れ数		受入れ可能な重傷患者数について 回答
	各学会等 医師派遣・支援物資の支援		各診療科等で学会を通して支援予 定
3.23	宮城赤十字病院への医師等派 遣 巡回診療	3.25	内科系1名、外科系1名、精神科 系1名、看護師2名、事務2名、 薬剤師1名（第3班より） 以降、5月1日まで12チーム（延 94名）を派遣
3.25	文部科学省放射線規制室	3.25	日本アイソトープ協会からの要請 により、福島県民の不安解消のた

日付	要請元	日付	本学の対応
			めの汚染検査機材として、本学アイソトープ実験室よりGMサーベイメータ6台を搬出
3.28	文部科学省文教施設企画部 災害復旧事業に係る施設担当 職員派遣協力依頼		建築1名、機械設備1名を派遣可能である旨回答したが派遣要請はなかった
3.30	国立大学協会 電力需給対策に係るアイデア 募集（意見照会）	4. 1 4. 4	学内周知 回答
		4. 6	水産学部 被災学生、教職員に施設利用、授業公開（聴講）、卒論研究支援等の用意がある旨HPで公開
4. 7	国立大学協会 震災復興・防災・日本再生に係る教育・研究組織一覧の照会	4. 13	回答 被災地へのメンタルヘルスケア（6部局） 地震、活断層、津波（1部局） 放射性物質、放射能（4部局） 復興から日本再生へのシナリオ（6部局）
		4. 8	法文学部 17大学人文系学部へ「特別聴講学生」受入の用意がある旨通知
			農学部 植物研究者・院生の一時的受入、植物等の栽培、施設利用等の支援が可能な旨を学会掲示板に掲載
		4. 11	キルプ（KIRP:東日本大震災支援～鹿児島国際市民プログラム）設置
		4. 13	就職支援センター 求人等の就職情報入手や就職相談を行える旨HPに掲載
4.15	農林水産省→文部科学省 「緊急時における食品の放射	4. 20	本学では測定検査は難しい旨回答

日付	要請元	日付	本学の対応
	能測定マニュアルの送付について」による測定対応可能な施設の情報提供依頼		
			日本放射線安全管理学会土壌分析グループメンバーとして校正用線源を借り受け、1台の高純度ゲルマニウム分析装置 HPGe を整備。
		11.15	福島県農業総合センターの依頼による農地土壌と野菜の放射能分関を実施（～H24.1/15）
	日本小児救急医学会	4.15	小児外科医院1名を陸前高田市へ派遣（～19日）
	ボランティア	3.31	学生1名（石巻市～4月5日）
		4.20	ボランティアセンター長からボランティア活動に関する情報提供及び手続き方法について周知
		4.26	理工学研究科・准教授1名（仙台市、石巻市、名取市～28日） 飲料水確保のための復旧支援活動及び水質調査
		4.28	学生2名（亘野町～5月8日）
		6.17	学生1名（東松島市～20日）
		6.29	現地で活動を行った学生の報告会を開催
		8.8	臨床心理学研究科・准教授1名（岩手県宮古市～12日） 被災児童・被災者への心理支援
		8.20	学生1名（大槌町・陸前高田市～22日）
		8.29	学生3名（七ヶ浜町～9月2日）

日付	要請元	日付	本学の対応
		9. 2	学生 4 名 (七ヶ浜町 ~6 日)
		9. 6	学生 2 名 (七ヶ浜町 ~10 日)
		9. 10	学生 3 名 (七ヶ浜町 ~14 日)
		9. 16	学生 1 名 (東松島市 ~18 日)
		9. 20	学生 1 名 (大槌町・陸前高田市 ~28 日)
		9. 26	学生 1 名 (陸前高田市 ~30 日)
		9. 29	学生 2 名 (陸前高田市・釜石市 ~10/1 日)
		10. 1	学生 5 名 (石巻市)
		10. 22	学生 2 名 (石巻市)
		12. 3	学生 2 名 (陸前高田市・釜石市)
		12. 27	学生 2 名 (盛岡市 ~31 日)
		H24 1. 20	学生 1 名 (石巻市 ~28 日)
		1. 29	学生 2 名 (宮古市 ~2/2 日)
		2. 11	学生 2 名 (七ヶ浜町 ~12 日)
		3. 2	学生 2 名 (陸前高田市 ~3 日)
		3. 2	学生 2 名 (遠野市 ~9 日)
		3. 2	学生 1 名 (遠野市 ~12 日)

日付	要請元	日付	本学の対応
		3. 8	学生 1 名 (遠野市 ~11 日)
		3. 8	学生 1 名 (遠野市 ~18 日)
		3. 9	学生 1 名 (盛岡市・遠野市 ~12 日)
		3. 14	学生 1 名 (遠野市 ~18 日)
		3. 17	学生 1 名 (遠野市 ~20 日)
		3. 19	学生 3 名 (宮古市 ~22 日)
		3. 19	臨床心理学研究科・准教授 1 名 (岩手県宮古市 ~22 日) 被災児童・被災者への心理支援
		3. 22	学生 1 名 (南三陸市 ~28 日)
		3. 28	学生 1 名 (遠野市 ~31 日)
		4. 2	法文学部人文学科 准教授 1 名 (岩手県宮古市・大槌 ~6 日) 仮設住宅談話室に参加、写真洗浄、瓦礫撤去
			災害用ボランティア活動保険 (保険料は大学負担) に加入させ、用具 (簡易テント、作業着、手袋、防塵メガネ・マスク等) を貸出
	学術情報基盤センター	5. 1	リユース PC を寄贈予定 (~H24.3.31)
		5. 10	特定非営利活動法人イーパーツと鹿兒島大学とのリユース PC 寄贈に関する同意書に調印
		7. 5	リユース PC 発送式、31 台を発送

日付	要請元	日付	本学の対応
			今後も継続 (H24.4.16 現在で 55 台発送)
	福島県→厚生労働省→鹿児島県	5. 6	精神科医師 8 名を「心のケアチーム」として派遣 (～9/30) 宮城県へ医師派遣 5月6日～9月30日 5～6月：1名 各1週間 7月～9月：1名 4日間
4. 2 7	(社) 日本放射線技師会 (福島県警本部) 遺体検案前の放射線サーベイ 要因の派遣要請	5. 4	医学部・歯学部附属病院 放射線部主任診療放射線技師 1 名 を福島県へ派遣 (～10日)
		5. 6	教育学部附属特別支援学校 全国特別支援学校知的障害者教育 PTA 連合に義援金として 10 万円 振込
5. 1 1	日本歯科医師会 歯科医療従事者の派遣依頼		1 チーム (歯科医師 2 名、歯科衛生士 1 名) が 1 週間で 2 チーム派遣可能と回答
	被災県知事→厚生労働省→日本歯科医師会 避難所での医療支援活動、主に 口腔衛生指導	7. 1 7	歯科医療支援チーム (歯科医師 1 名、歯科衛生士 1 名) を宮城県南三陸町へ派遣 (～23日)
	文部科学省 EOC 医療班 一時帰宅者のスクリーニング 支援活動	7. 2 4	RI 実験室技術職員 1 名を福島県へ派遣 (～26日) 7月20日現在4名の技師等を登録
	日本心身医学界 被災者の診察	8. 1	心身医療科医師 1 名を気仙沼市立病院等における被災者の診察のため派遣 (～3日)
	厚生労働省 → 文部科学省 東京電力福島原子力第一発電所 5 / 6 救急医療室における 医療支援	9. 2 5	看護師 1 名を現場作業者に対する救急医療、健康管理、診療環境整備等のため派遣 (～28日)
		H24. 3. 2 8	(予定) 現場の作業者に対する救急医療、健康管理等に從事するた

日付	要請元	日付	本学の対応
			め、看護師 2 名（男性）派遣 H24.3.28～3.31 1 名 H24.3.30～4.2 1 名
		1 0 . 1	水産学部 福島県松川市の水産業復興および 環境調査に関する共同研究（～ H26.3.31）
		1 0 . 1	岩手県養殖漁場の生産性に関する 津波影響モニタリングと底質改善 事業（～H26.3.31）
		1 0 . 2 0	教育学部附属特別支援学校 学習作業でダンボール 1 箱分の雑 巾を作り宮城県特別支援教育セン ターに送付
1 0	気仙沼市立鹿折小学校 生徒への講話依頼	1 0	国際島嶼教育研究センター 教授 1 名 講話「地域・身近なひとの助け合 い・支えあい」を実施
	全国医学部病院長会議 九州ブロックからリレー方式 による派遣（消化器科における 診療）	1 1 . 2 0	消化器内科医師 2 名を福島県南相 馬市へ派遣（～26 日及び 11/27～ 12/3 各 1 名）
	ベルマーク教育助成財団 「東日本大震災被災校への緊 急友愛援助」依頼	1 2 . 1 6	教育学部附属特別支援学校 24,948 円を振込
.		H24 2	国際島嶼教育研究センター 教授 1 名 気仙沼大島で長期支援活動を継続 している団体の要望に応え、7 年 後の架橋・復校方策に関し、架橋 後の島嶼社会・生活変化に関する 全国事例について情報提供活動を 行った
		3 . 2 0	学友会管弦楽団（一部） 台湾エバーグリーン財団が東日本

日付	要請元	日付	本学の対応
			大震災の復興を願い台北市で開催したコンサートに参加
		4. 1	理工学研究科 准教授 1 名 岩手県南部～宮城県北部の津波痕跡及び被災状況の調査（土木学会 海岸工学委員会・地球惑星連合等による東北遅効太平洋沖地震津波合同調査グループの一員として）